

運送業として地元とのつながりを生かした農業参入 (株式会社インザイトラスパー)

<法人の概要>

所在地：千葉県松戸市

設 立：昭和45年5月

資本金：3,600万円 売上高：82,000万円（平成26年度）

（うち農業：1,000万円、うち農業関連事業：81,000万円）

役 員：4名（うち農作業従事2名）

従業員数：92名、うち農業従事者3名

経営面積：0.7ha 営農作物：小松菜

農業開始時期：平成23年11月



小松菜 栽培ハウス



小松菜 収穫作業

<農業参入に至った経緯・動機>

- ・ （株）インザイトラスパーは、松戸市公設北部市場の仲卸業者であったインザイベジフルの運送部門の会社として、昭和45年5月に設立された。
- ・ 市場の仲卸業として、富里市の農業経営者をはじめとした生産者との密接な関係が築かれていたが、当初の役員である田中健二氏が実際の農産物の生産現場に関心が高かったことをきっかけとして、平成23年11月に農業参入に至った。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

- ・ まず、平成23年3月より地元（松戸市）の生産者に師事し、土づくり施肥管理、温度管理をはじめとした小松菜栽培に関する栽培ノウハウや効率的な生産を行うための作業工程等を習得した。
- ・ 並行して、地元農家より農地6,908㎡を賃貸借により確保し、トラクターなどの農業機械及びハウスは自力で調達した。さらに、地元の農業者を2名確保し、本格的な生産に着手した。

<営農開始から現在まで>

- ・ 販路については、設立母体のひとつが公共市場内の仲卸業者ということもあり、地元スーパーや外食産業及び宅配など多角的に確保できている。
- ・ 栽培技術については、その後立ち上げたグループ内の農業生産法人株式会社ベジフルファームと協業しつつ、多方面から新たな知見を吸収し、日々改善している。
- ・ より安全・安心な農産物を安定的・効率的に生産するため、自前で堆肥を生産しているほか、適切な施肥等に意を用いている。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・ 生産面ではグループ内農業生産法人ベジフルファームとの協業を一層推進し、流通面では他のグループ内企業(卸、仲卸、パック等)との連携を更に深め、本体の運送業も最大限に利用しつつ、高品質・高付加価値の野菜作りに邁進したい。
- ・ 今後TPPはじめ農業を取り巻く環境の激変が予想される中で、千葉県という地の利を生かし、日本のみならず世界の消費者に歓迎される農産物の生産、流通の改善にグループ全体として努力をしてみたい。
- ・ 農業と福祉と教育という生活の根幹を常に忘れず、障害者の雇用推進等あるいは就業者の将来育成への取り組みも進めたい。

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

- ・ 農業は土と天候の事業であり、ために地域にはその土地・自然に根差した伝統があり、その尊重とそれとの調和、さらにそれを改革する熱意が最も重要である。
- ・ 法人としてはとにかく改善に改善を重ねて利益を出すことが重要である。



小松菜 袋詰め作業の様子



小松菜 袋詰め用機械